

令和5年6月2日

広報広聴委員会

阿久根市議会

1 会議名 広報広聴委員会

2 日時 令和5年6月2日(金)

午前11時44分開会

午後0時3分散会

3 場所 第2委員会室

4 出席委員

川原 慎一 委員長、白石 純一 副委員長、大野 雅子 委員、
川畑 二美 委員、竹原 信一 委員

5 事務局職員

次長兼議事係長 上 脇 重 樹

6 会議に付した事件

議会だより第220号(臨時号)について

7 議事の経過概要 別紙のとおり

審査の経過概要

○ 議会だより第220号（臨時号）について

川原慎一委員長

広報広聴委員会を始めたいと思います。

急な開催になってしまいましたが、皆さんがお集まりのときにと想着、今日開催させていただくことにいたしました。

26日の委員会で、いろいろお話しいただいたことを踏まえ、モアノートの中にある形に変えましたので、見ていただきたいと思います。

暫時休憩いたします。

（休憩 午前11時45分～午前11時48分）

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

まず、表紙のページですが、表紙のページについて、いかがでしょうか。

竹原信一委員

写真が明るくなったから、これでいいんじゃないかな。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

川原慎一委員長

異議なしということで、1ページ目はこれでいきます。

2ページ目です。いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

2ページも異議なしということで、これでいきます。

3ページ目。

竹原信一委員

議会運営委員会、広報委員会とかの名前を書いているところがですね、この名前が、上下間隔が狭い割には横間隔が広いんですよ。何か見にくいんですよ。このバランスをもう少し考えて、例えば、名前、牟、田、学。この字をもう少し寄せたほうがいいんじゃないかと、横に。

〔発言する者あり〕

議員の名前のところ。議会運営、広報、予算、阿久根地区消防組合議会、北薩広域、そこに議員一人一人の名前が入っているけれども、文字ごとの間隔が少し広いんじゃないかなあ。もう少し狭くしたほうが。縦に読みそうになってきて、目の動きが。

川原慎一委員長

皆様いかがですか。

竹原信一委員

いじってみて、工夫してもらいたいなど。ここで私たちが議論するよりも、文書をいじってみて、ちょっと寄せた方がよければそう、いやこの幅が一番いいっていうんだったらしょうがないけれども、この、川、原、慎、一、の字の間隔は寄せたほうが読みやすいという気が

するの。例えば川原をつけて、慎一をつけて、その間をするという手もあるだろうけれども、どっちにしてもどうもね。つい、牟渡川と縦に読みそうな感じがする、目を送るんだよね。

川畑二美委員

私、このほうがちゃんと牟田さんは牟田、竹原さんは竹原。名字と名前が別々ですから。私はちゃんと、そのほうが見やすいんじゃないかなと。

どういう意味で、縦、横とおっしゃっているのか、ちょっとそれが。

川原慎一委員長

一字一字が結構離れてるじゃないですか。それで、縦に見る人もいるんじゃないかというのが竹原委員のおっしゃることだと思うんです。

竹原信一委員

目の送り方として、自然さが、縦に送ってしまうような感じで、どうも違和感。

白石純一委員

その上の総務文教・産業厚生のような形にということですか。

竹原信一委員

そのほうがいいと思いますね。

上脇事務局次長兼議事係長

今、竹原委員がおっしゃったことなんですが、実は第1校目はそうしておりまして、個人名を申し上げてしまうとあれなんですけれども、3文字の名字の方がいらっしゃって、その3文字の名字があるために、名字を寄せた時に名字と名前のバランスがとれなくて読みづらかったんですよ。なので、3文字に合わせて名字は名字で、名前は名前で統一しないと、名字と名前との列が統一がなされなくて目が送りにくかったということで、最初は、上の常任委員会に合わせた形にしていたんですけれども、名前の2文字の間を引っ付けてしまうと3文字名字の方がそのままですので、そこがでこぼこになってなかなか。均等割り付けしても揃えることができなかったんです。

竹原信一委員

どうでもいいわ、そこの1人は。全体的によろしくない。

上脇事務局次長兼議事係長

議長と竹之内議員のお2人なんですけど。また、お名前が1文字の方もいらっしゃって、そこのバランスもあってということでこうしてみたところでした。

川畑二美委員

私は、今、事務局の人が言ったように、このほうが見やすいと思います。名字と名前が別々のほうが。

竹原信一委員

どういうこと。どこ見てるの。

川畑二美委員

いや、これです。ここ。

竹原信一委員

そこの話をしてるんじゃないなくて、下の話をしているのよ。ここの話。だから、こんな感じにしたほうがいいんじゃないかという私の提案なのに。

川畑二美委員

私は上のことを言っているのかと。

竹原信一委員

上みたいな感じにした方が分かりやすいんじゃないの。目をつい縦に送ってしまいそうな感じだから。

だから、彼が言ったのも、最初は上みたいにしていたんですという説明だったのよ。

川畑二美委員

ああ、そういうこと。分かりました。

竹原信一委員

ちょっとやって、考えてきてもらえないかなあ。

川原慎一委員長

事務局は努力したんでしょう。

上脇事務局次長兼議事係長

一旦は努力をいたしました、後はどうですかね。

川原慎一委員長

私に一任していただけますか。事務局にやってもらって、できないならこれでいくということによろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

では、3ページはこれでよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

ありがとうございます。

最後、4ページですね。よろしいですか。

川畑二美委員

先ほど休憩中に、申合せに「し」を入れると竹原さんが御意見されましたけど。

竹原信一委員

そう、そこ。標準的にはというか、世間的には「し」を入れるから、そっち向けにやったほうがよろしいんじゃないでしょうか。

市役所のルールは、この際ちょっと違うね。広報なんだから。

川原慎一委員長

いかがですか。そこに関して、皆さん。「し」を入れるということ。

白石純一委員

私も、「し」が入った方が自然。

川畑二美委員

私もはい、そのほうがいい。

大野雅子委員

私もそれでいいと思います。

川原慎一委員長

では、申合せについては、「し」を入れていただくということでお願いします。

竹原信一委員

基本的な考え方も、今後も、世間に合わせるという方向で。

上脇事務局次長兼議事係長

広報紙に関しましては、会議録の作成の要領とか、市の公文書の基準よりも、新聞とか、皆さんのお目にかかる、その記載の方法というような例がございます。議会だよりの研修等

もごさいますので、そこら辺を踏まえまして、議会だよりの記載の方法の例によって作成をしていったほうがいいなと私どもも考えますので、その記載の方法については新聞とか、皆さんが見やすいような文字の送り方というのは、広報広聴委員会で検討していただければと思います。我々事務局としても、会議録作成要領よりも議会だよりの作成要領のほうに沿った形で事務局案としても提示していきたいなと思います。

白石純一委員

全く今の上脇次長の意見に同意です。

実は私、前職で、社内誌、社外誌、マスコミへの発表の文書等を作る担当を一時してたこともありますけど、そこで参考にしていたのが、記者ハンドブックという全国の新聞社あるいは共同通信が出している、記者が記事を書くときの送り仮名とかそうした基準をよく書いてあるハンドブックがあって、それを参考に、それを基準にしていた。

もし、そういうものがあれば、これはもう何十年も前なので、今あるかどうか分からないですけど、それも一つの参考になるかと思しますので、今後、委員会で検討していけばいいと思います。

竹原信一委員

先ほどの事務局の説明は、そのスタンスというものがですよ、何かの例に従ってという感じの発想ではなくてですよ。日頃から感じているそのね、感覚。市民の皆さんがどう、いつも敏感になっておいていただいて、それに合わせる。相手が、子供なら子供に合わせる、市民の皆さんが使ってる言葉の感覚、それをいつも感じてというふうにしてもらいたいんですよ。

例によって、何かの例というのは常に遅れるんですよ。

だから、敏感な感じで、住民の気持ちになって、書いたものを読んで、こっちがいいかなとそういうふうな取り組み方をしていただきたいと思います。

大野雅子委員

今、ネットで平仮名で申し合わせと入れた場合、申合せの「わ」も入っているんですけどこれは必要ないんですかね。

竹原信一委員

「わ」もだね。ありがとうございます。申し合わせだね。

白石純一委員

竹原委員がおっしゃったように、普段市民がより使うであろうという表現に心がけるということはないんですけども、市民の感覚というのはそれぞれの主観でありますので、それももちろん大事ですけども、やはり一つの指針となるようなもの、先ほど言ったようなハンドブックのようなものを一つの参考にするということが必要ではないか。そうしないと主観で判断してしまうことになりますので。

川原慎一委員長

休憩に入ります。

(休憩 正午～午後0時1分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

川畑二美委員

少しずつですね、難しい漢字はルビを入れてあげるとか、そういうのも大事じゃないかなという思うんですけど。

竹原信一委員

どこにある。

川畑二美委員

どこにあるって、少しずつです。

読めるか。少しずつです、少しずつ。

竹原信一委員

ここにあるのなら、言えば。

川畑二美委員

どこにあるというのではなくて、少しずつ。

ルビも入れてあげるとか、そういう工夫も必要なんじゃないかなということ。

川原慎一委員長

これから先そういった形をとっていくということによろしいでしょうかね。

今回はもう難しいので。

川畑二美委員

前回話をしたようにやっぱり字体も少しずつ大きく。

竹原信一委員

文字数が減るんだよね。

川畑二美委員

文字数は減るけど、小さい字よりは大きい字が。

川原慎一委員長

字を大きくするのはちょっといろいろまたあります。文字数が減るので伝えたいものがどうなるか。これはもう少し話合いが必要ですので、話し合ってください。

4ページに関しては、今の申合せについても含めて、これでよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

ありがとうございます。

それでは、この第2校に関しましては、4ページだけ、現状としては。あと、3ページに関しましては、議運と広報広聴、委員会の字、レイアウトをですね、ここに関しては、触れるようであれば触ってみると、これは私に一任していただくということで、一応これで決定ということでやっていきますのでよろしくお願ひします。

他に何もございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ、広報広聴委員会を散会します。

(散会 午後0時3分)

広報広聴委員会委員長 川原 慎一